秘在寺

正月だより

令和２年１月３日発行

冷泉山　秘在禅寺
住職　武山清堂　　副住職　武山一堂
〒421-2105　静岡市葵区郷島 562
電話　054-294-0542
Fax　054-294-0709
seido@hizaiji.net
http://hizaiji.net/　（秘在寺）
http://ashita-an.hizaiji.net/　（あした庵）

謹賀新年

新春を迎え
檀信徒の皆様の
ご多幸をお祈り申し上げます

旧年中は大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願い致します。

いつもニコニコ　朗らかに
明るく生きよと　富士の山
強く生きよと　富士の山
お父さんではないかしら

これは私が小学生のころ、母から教えてもらった詩です。母はことあるごとに、アアちゃん「今、富士山の絵を描けるかね」と言って、富士山の笑った絵をわら半紙に描いて、障子の桟に貼ってくれました。

今年も年が改まり新年がやってきました。どんなに暗い夜でも必ず朝がくるように・・・。今日も生かされている命を大切に、光に向かって歩を進めましょう。

＊アアちゃんとは清堂の俗称

今年の四月に、長男の一堂に住職を譲り交代させていただきます。四十数年間という長い間、檀信徒の皆様には大変お世話になりました。心より感謝し、お礼申し上げます。新住職はまだまだ未熟です、皆様のお力添えを切にお願い申し上げます。

なお、お披露目の式「晋山式」は令和三年二月二十八日（日）の予定です。

◆　そらの道まつり

第二十一回そらの道まつりが開催されました。ご来場の皆様、ご協力下さった皆様に心からお礼申し上げます。

十一月三日

◆　まつり売店

今回の寺の売店はお菓子だけとし、隣でフリーマーケットを開きました。お菓子は「蒸しようかん」を復活させましたが、少しか販売できずあっという間に完売してしまい申し訳ありません。今回は「きみしぐれ」も今までで一番きれいに仕上がり、黒砂糖の蒸しパンその他も上手にできました。新たにナッツバーも加えました。お菓子教室の会員十三名が普段違う曜日に来る人も一同に会して、分担した菓子を一日中作り続け、包装の得意な人はそちらに集中、それぞれ腕を上げたようです。

◆ そらの道まつり前の掃除

まつりの舞台で空手の演武を披露して下さる極真会館大石道場の皆さんが、十月二十七日に草取りと掃除をしてくれました。除草剤をまくとイシクラゲが生える恐れがあるので、今年はまかずに私たちも少し草取りをしましたが、とにかく時間が無くて取りきれません。一人でやってもいくらもはかどりません。大勢の力はすばらしい！本当にありがとうございました。

◆ 慰労会

十一月二十三日

まつり当日に歌や踊りを披露してくれた皆さんが「おてもやん」などで、座を賑わせて下さいました。

焼き芋を差し入れて下さった望月幹男さん、やはりふかし芋と違っておいしかったです。他にも腹話術やらいろいろ出し物があって楽しい一夜でした。

そらの道まつりの寺の売店は、長い間松永とし子さんと望月美代子さんに責任者をやっていただきました。まつりの前になると、お二人に同行して貴い流通センターへ買い出しに行ったものです。おでんと鶏飯は好評でしたが、私にとって朝早くから鶏飯を炊く作業がつらくなったので、前回から鶏飯をやめ、おでんも今回からやめました。安くておいしいと言われ、今回も「おでんはないの？」とずいぶん尋ねられたそうです。そのとし子さんが十二月初めに亡くなられました。長い間お世話になり本当にありがとうございました。

◆ 永代供養墓秋彼岸法要

九月二十三日

台風十七号の影響で、時折風雨が強くなったため、法要は本堂で行いました。

◆ 墓地移設事業

九月二十九日に松下土木様・石澤石材様に同席していただき、説明会を行いました。説明の後、質疑応答、その後お墓へのぼり、どのようにするか一件ずつ石屋さんと相談しました。週末は雨が降るという予報は外れ、暑い日だったので、降りてきたときには皆さん汗だくでした。この日に都合の悪かった方には翌週の十月六日に同様に説明会を開きました。

農地転用許可・墓地移設許可などの手続きも済み、ようやく造成工事が始まりました。一月十九日に移転予定墓地の閉眼供養を行い、その後墓地移設工事開始、お彼岸には間に合いませんが、お盆までには完成する予定です。モノラック設置などもあり、お墓参りの皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご了承下さい。

◆ 本山妙心寺奉仕団参

十月一日～二日

第一部宗務支所主催の団参ですが、バス一台二十六名の参加者でした。一日目は早速奉仕作業で境内の草取り、十月に入ったにもかかわらず、なんと気温は三十三度、汗だくの作業でした。妙心寺の境内は十万坪と言われます。広い境内のわずか一角ではありましたが、きれいになりました。

翌朝のお勤めには管長猊下はじめ宗務本所の大勢の和尚さまが出頭してくださり、下山の際には宿所花園会館と宗務本所職員総出で見送ってくださいました。その後大徳寺の拝観をして、帰途につきました。秘在寺と菜流寺それぞれ四名の方の参加でした。

◆ 自主防災訓練

郷島・野田平
十一月二十四日

今年度の賎機北学区防災訓練は小学校・秘在寺の二箇所に分かれて実施されました。

例年のように防災タオルを見える所にかけて、「我が家は全員無事」を知らせ、組長さんと自主防委員が確認します。担当役員は八時に集合、女性部役員が炊き出しの準備を始めました。

九時に秘在寺集合、二十分から秘在寺本堂内でＡＥＤトレーナー・ダミー人形を使った心肺蘇生法の講習会が実施され、終了後十時頃から炊き出しのおにぎりや味噌汁が配られました。

今回の炊き出しでは、初めから塩を入れて炊いたご飯をビニール袋に入れて配り、各自で袋のままおにぎりにして食べて貰いました。味噌汁はだしの素と味噌、乾燥具で簡単に作りました。土木事務所からいただいたという、アメリカ産のシチューやビスケットも合わせて試食。一九九五年に作られたという二十五年保存可能の缶詰のシチューの素でしたが、見た目が今ひとつなので「おいしくなさそう・・・」と思った方が多いようでした。でも少しカレー味がついていて、なかなかおいしかったですよ。二十五年前のアメリカの味付けはどんなものだろう？と興味がわきましたが、今の私たちにとって不自然でない味付けでした。市から支給されたアルファ米（わかめご飯）とビスケットをお土産に貰って解散。

アルファ米も買うとけっこう高いのですが、なにしろ五年の賞味期限が切れる寸前のものが支給されるので、将来に備えてこれを常備というわけにはいきません（笑）

◆ 四国八十八カ所巡拝　第一回

十二月二日～五日

第二次四国遍路の第一回参加者は十五名でした。静岡を発ったときには雨が降っていましたが、現地では傘を差すこともなく、時季の割りには暖かい日で助かりました。またさすがに十二月となるとお参りの人も少なく、どの札所もすいていて大きな声でお経を唱えることができました。

◆ しずきた　こだマルシェ

十二月十五日
賎機北小グランド

しずきたこだマルシェ、六回目にして初めて晴天の下、スタートできました。運動場に色とりどりの三十以上のお店のテントが並び、来場者の方々が野菜に美味しい食べ物、掘り出し物雑貨などのお買い物やキャンドルやリボン作りのワークショップにと楽しんでくれていました。お陰様で小さなお子様からご年配の方まで多くの方々にご来場いただきました。

また駐車場係等地域の方々にご協力をいただき、本当にありがとうございました。出来る限り続けていきたいのでまた来年も楽しみに待っていて下さい。

（主催：郷土をよくする会青年部）

◆「おかげさま」「好日」

同封の「おかげさま」は本山の会報です。十一ページに静岡東教区御詠歌奉詠大会の記事が載っています。一番上の写真の左隅が静岡地区の寺庭ですので、秘在寺の寺庭も写っています。

「好日」は静岡東教区の会報で十四ページ　ぶらり静岡　オクシズ編「オクシズの玄関、安倍奥グルめぐり」は　副住職が書いた記事です。なお「好日」にはさんであるしおりは、五十号記念です。妙心寺派管長猊下の墨跡で、「山雲海月情」と書いてあります。

◆ 花だより

昨年は彼岸花がかなり遅かったですね。普段は早ければ九月始めには咲き始めますから一ヶ月近く遅かったでしょうか？満開はお彼岸過ぎでした。白い彼岸花を増やしたいと思っていましたがお彼岸頃から咲き始めました。黄色も球根を買って植えてありますが、これは咲くのが一番遅いようです。待っていましたが今年はとうとう咲かずに終わりました。鉢に植えてあったのが悪いのかと、地面に植え替えましたが、地植えのものも咲かなかったのでやはり気候がおかしかったのでしょうか？

球根を移し替えた白の彼岸花、咲いたのを見つけてひと安心。また大倉十郎さんから白の球根をいただいたので増やしていきたいです。赤も彼岸花らしくていいですが、白も涼しげできれいです。

一年生の孫が学校で育てた朝顔を、夏休みの間玄関前の砂利のところに置いておきました。夏に咲いたこぼれ種で芽が出たのですが、こんな時季、いずれ寒くなったら枯れてしまうだろうと思っていたのに、なんと花が咲いていました。つるも伸びていないのに、ちょこっと一輪、けなげな朝顔でした。

「浮御堂月のさざなみ寄すばかり」という句碑ですが、トレニアがこぼれ種でぎっしりと咲いて、さざなみのようです。この句碑を建てた梛（なぎ）すゞ子さんはもうお亡くなりになったのですが、昨年ご家族や友人の皆さんがいらっしゃり、ゆっくりと歓談していきました。

（お墓ではないのでお参りとは言えないかな？？）

他の句碑にもご家族やお友だちがいらっしゃる姿を見かけることがあります。お彼岸中に「お墓の場所がわからないので教えて下さい」という方もいらっしゃいました。「お墓はいらない」という風潮がありますが、お墓は残された人のためのものであることを実感します。そしてこれらの句碑もご縁のある方にとってより所になっているのではないかと思います。

月下美人が咲きました。（六番の長島浩さんにいただいた物です）七月に続いて二回目です。七月に咲いた後、蕾も見えないのでもう咲くこともないだろうと思っていました。

ところがある日ふと見ると、八つも蕾が付いていて、これは豪華と思いあわてて玄関に鉢をもってきました。ところが小さい状態で次々に落ちてしまい、結局咲いたのは二輪だけでした。

その日は夜の写経の日で、いらした人たちに見て貰うことができました。初めて見たという人もいたので、咲いた甲斐があったというもの。前日のヨガの人は、七月の時にちょうど水曜に咲いたので開花を見ています。これも見たいなと言っていましたが、残念、一日違いでした。夜の講座はは写経とヨガだけなのですが、その人たちの来る日に咲いてくれてよかったです。

花の苗をお菓子教室などにいらした人に差し上げています。「ピンクのたんぽぽ」や「アグロステンマ」「ノースポール」など大種からでてきたものです。花の時期が来ると「咲いたよ」そして「種も採りました」と言われたりするのが嬉しいです。

ある日、玄関に沢ガニがいました。この小さい体で沢から歩いてくるのはずいぶん時間がかかったでしょう。ここには水も餌もないけど・・・どこへ行ったのでしょうか？また長い旅をしたのでしょうか？

一年間お世話になりました。
今年もどうぞよろしくお願い致します。